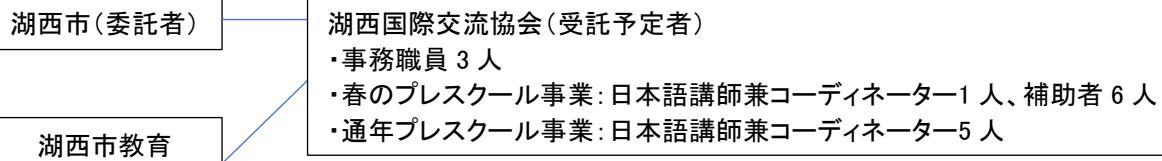


令和6年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (II 外国人の子供の就学促進事業)
 事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【湖西市】

令和6年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制



2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること

②学校外における、不就学等の外国人の子供に対する日本語、教科若しくは母語支援又は学習習慣の確保に係る指導のための教室の開設

1. 春のプレスクール事業

小学校就学前年齢の児童を対象に、初步的な日本語、学校生活のルール、小学校体験を行う。日本語講師兼コーディネーター1人(3時間×12日)、補助者6人(2時間×10日、3時間×2日)を配置した。

2. 通年プレスクール事業

市内公立小学校に編入予定があり、かつ、教育委員会において日本語の理解が不十分で初期支援が必要と判断された児童及び生徒を対象に、初步的な日本語、読み書き、算数の概念、及び学校生活の基本についての支援を行った。1期15日間×年間18期、開始時期は児童生徒の転入に合わせた。日本語講師兼コーディネーターを配置した。

③不就学等の外国人の子供に対する日本語、教科若しくは母語支援又は学習習慣の確保に係る指導を学校外において行う指導員の研修

春のプレスクール事業及び通年プレスクール事業に従事する日本語講師兼コーディネーター及び補助者に対し、日本語学習支援に関する研修を実施。年間2回実施した。

⑥その他不就学等の外国人の子供の就学の促進に資する地域独自の取組(就学ガイダンスの実施、就学パンフレットの作成・配布等。)

春のプレスクール事業において、参加児童の保護者を対象に、日本語学習支援、学校ルールや生活マナー、先輩保護者との懇談会、学校体験を行った。

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること

②就学前の児童生徒が日本語の初步や学校生活の基礎を学ぶことを支援し、学校生活への円滑な適応を図った。

③講座に従事する講師や補助者の対応スキル向上を図った。

⑥保護者が学校生活の様子やルールを学ぶことで児童の学校生活への円滑な適応、及び将来の進路を見据えた意識啓発を図った。

	3～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳以上 (過年齢)
本事業で対応した子供の数	9人	15人	3人	0人
4. その他(今後の取組等)				

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになつても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き文部科学省ホームページで公開する。